

いじめと不登校について(2) 町民の皆さんに知っていただきたいこと

◆不登校について

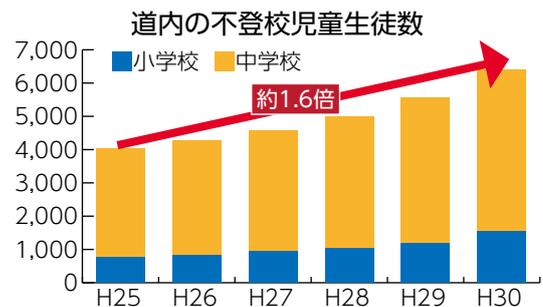
全国、道内で不登校に関する問題が話題になる中で「別海町にも不登校の子どもはいるのか。そのために学校や町としてどうしているのか」というご質問を受けることがあります。

本町でも、全国、道内と同じように「学校における人間関係」「さまざまな不安傾向」「入学、転入、進級時における不適応」そして「家庭における状況」など、さまざまな要因から不登校（傾向）に悩む子どもたちがいます。

◆道内の不登校児童生徒数の変化

右のグラフのとおり、年々「不登校の児童生徒数」は増加しています。昨年度と一昨年度を比較しても、小学校343名、中学校511名で合計854名の増加、5年前（H25年度）と比較すると、小学校769名（対比約2倍）、中学校1,626名（対比約1.5倍）で合計2,395名（対比約1.6倍）の増加となっています。

特に、中学校入学後の1年生に増加する傾向が表れており、本町も同様の傾向にあります。



◆学校と町の対応

学校では、いじめや不登校を未然に防ぐため、児童生徒の日常からの観察や、家庭との連携はもちろん、児童生徒の心情等を理解するためのアンケート調査の分析等（児童生徒理解支援ツール）、個々の児童生徒の理解に努め対応に当たっています。

また「いじめ」については、道教育委員会が全児童生徒へ年2回実施しているアンケート調査を基に対応をしています。

町では、児童生徒と家庭に対応する上級教育カウンセラーの資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）、児童生徒や保護者の悩みや相談を受ける臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラー（SC）を配置する他、学校へ行けない児童生徒の受け皿となる教育支援センター「ふれあいるーむ」を設置し、教員の資格を持つ指導員を午前9時から午後4時まで常駐させ対応に当たっています。

さらに、別海中央中学校では通常の養護教諭の他、道教育委員会から生徒指導のための養護教諭の配置を受け、いじめや不登校に対応しています。

状況に応じて、不登校をはじめとした「困り感」を抱える児童生徒に対して、教育委員会と保健センターが連携し、臨床心理士や保健師が相談を受けたり、学校訪問をする場合もあります。

「いじめと不登校」の問題は、要因が多岐にわたり、場合によっては複雑化した案件もあるため、すぐに解決できない場合もありますが、今後も、町と学校が連携しながら、本町の将来を担う子どもたちのために問題の解決に当たっていきます。

- 登校やいじめに関して悩みや問い合わせがある方は、別海町教育委員会の根本・池田（TEL75-2111 内線3503）までご連絡ください。

2月の町内各園校の主な行事など

※詳しくは各校へお問い合わせください。

◆スケート大会（記録会）

2日(日) 上西春別小学校 ※駅前地区スケート大会 6日(木) 別海中央小学校

◆授業参観日

6日(木) 野付中学校、上西春別中学校 7日(金) 別海中央中学校 9日(日) 野付小学校

10日(月) 上風連中学校 12日(水) 中春別中学校

14日(金) 中西別中学校、西春別中学校、上春別中学校

19日(水) 別海中央小学校(低学年)、上西春別小学校(高学年) 20日(木) 別海中央小学校(中学年)

21日(金) 別海中央小学校(高学年) 26日(水) 上西春別小学校(低学年)、上春別小学校

27日(木) 中西別小学校、上風連小学校